

I 「保育の計画性」についての検証結果及び改善策

- ・幼稚園教育要領を踏まえ、園の教育理念や教育目標を理解しながら、指導計画の立案に努める必要がある。
- ・教員同士が話し合い、学級・学年ごとに計画性を持って保育にあたっている。
- ・保育的視野を広げ、より質の高い指導計画の立案・実践が出来るよう、配慮する必要がある。

※ 自己評価の個々の捉え方や結果を踏まえ、管理者・主任者間で話し合いながら保育に活かしていくことが望まれる。

・自己評価平均（満点／3）… 年少：2.37 / 年中：2.21 / 年長：2.39 / 全体：2.32

II 「保育の在り方、幼児への対応」についての検証結果及び改善策

- ・子どもの病気に対する知識を高め、園児の日々の様子や体調に配慮しながら保育にあたっている。
- ・全園児を全教職員で保育するという意識を高め、個々の園児についての共通意識や理解を深める。
- ・園児とともに喜びや悩みを共有し、達成感を持ちながら保育業務にあたることが出来ている。

※ 主任や教務に頼らず、クラス担任としての自覚を持って指導にあたるのが普遍的に実践出来るよう、今後も指導していく必要がある。

・自己評価平均（満点／3）… 年少：2.69 / 年中：2.67 / 年長：2.77 / 全体：2.71

III 「教師としての資質や能力・良識・適性」についての検証結果及び改善策

- ・「子どもの指導をする」ことに対する責任感を持ち、自己研鑽を深めながら職務にあたるのがより望まれる。
- ・保育に対し、一方的な判断や独善的な対応をすることなく、真摯に受け止め協議をするよう心がけなければならない。

※ 勤務時間外においても教師としての自覚を持ち、日常生活での態度や言動に夙に配慮する必要がある。

・自己評価平均（満点／3）… 年少：2.35 / 年中：2.20 / 年長：2.10 / 全体：2.21

IV 「保護者への対応」についての検証結果及び改善策

- ・連絡帳等による文書や電話・直接的な口頭での文言表現については、勤務年数に準じなく個々に差異がある。
- ・幼稚園教諭としての守秘義務を遵守し、軽率な言動はくれぐれも慎む。
- ・園の方針の根幹をなすような事案に対しては個別判断による返答は避け、園長・教頭等に具申し、指導を受けながら対応するように努める必要がある。

※ 園に対する信頼を損なうことなく、新任者を中心に指導・対応するよう心がける。

・自己評価平均（満点／3）… 年少：2.70 / 年中：2.77 / 年長：2.78 / 全体：2.75

V 「地域の自然や社会とのかかわり」についての検証結果及び改善策

- ・地域環境への理解度や、それを保育に活かす為の意識が全体的に低い。
- ・外来者への対応や用件の理解などに配慮する場合、職員間での意識にバラつきがある。
- ・コロナ禍の閉鎖的な世情の中、当該地域の各種学校との情報交換や教育交流の実施に対し、安全確保のもと対応することが望ましい。

※ 当該地域における当園の存在意義と責任を全教職員間で共有出来るよう、今後も努めていきたい。

・自己評価平均（満点／3）… 年少：1.91 / 年中：1.95 / 年長：1.92 / 全体：1.93

VI 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

- ・園内外での研修については、どの教員も概ね意識が高く、日々の保育に活かそうとする姿勢が顕著に見受けられる。

※ 個々に課題設定や研究目標が見据えられ、現在遂行すべき保育業務に沿った研修が実践出来るよう、配慮していきたい。

・自己評価平均（満点／3）… 年少：2.35 / 年中：2.20 / 年長：2.10 / 全体：2.21

「外部アンケート」からの検証結果及び改善策

アンケート結果を真摯に捉え、より良い保育の実践に努め、保護者・地域に対しての信頼高揚に努めていきたい。特に1年余続くコロナ禍において、制限的に運営せざるをえない保育環境の中で、保護者との相互連絡や幼稚園での子どもの様子をよりわかり易く伝えるなど、園と家庭・地域との相互理解を深め、より有意義な幼稚園運営の確立を目指していきたい。